

未来へ羽ばたく「卒園証書授与式」



三月十八日には川越第二ひばり幼稚園・川鶴ひばり幼稚園、十九日には川越ひばり幼稚園にて、それぞれ年長児の卒園証書授与式が行われました。

「こそつえんおめでとう」と書かれたコサージュをつけた子どもたちは、少し緊張した表情で入場。卒園証書を受け取るために歩むその一歩一歩には、これまでの成長の積み重ねが感じられ、保護者の皆様からはあたたかなまなざしが注がれました。呼びかけの場面では、入園したばかりの頃の思い出や、大好きな先生とのふれあい、友達との楽しい毎日を振り返る言葉が子どもたちの口から丁寧に語られました。合間に披露された合唱は、言葉以上に想いが伝わってくるような美しい歌声で、会場全体が感動に包まれました。

思い出と希望を胸に歩む未来への一歩

ひばり新聞

Hibari

号外

発行月
3月



中には、言葉を届けながら涙を浮かべる子どもたちの姿も。それでも最後まで一生懸命に声を出そうとする姿に、見守る保護者の皆様の目にも思わず涙が。子どもたちの表情からは「ありがとう」の気持ちがいっぱい伝わって来ます。かけがえのない時間が流れていきました。

たくさん笑顔と挑戦に満ちた毎日、大好きな仲間と育んだかけがえのない時間——幼稚園での一つひとつの経験が、子どもたちの心に確かな自信として育まれています。

春の光の中、それぞれの「ひばり」たちが、「ありがとう」の気持ちを胸に、新たな空へと向かって羽ばたいていきます。

一つ大きくなったね！進級式



つばさ組・年小組・年中組の子どもたちを対象に「進級式」が行われました。この一年で大きく成長した子どもたち。それぞれの学年でたくさん経験を積み重ね、自信をつけてきました。進級式では、ひとつ大きいお兄さん・お姉さんになることへの喜びを感じながら、担任の先生や新しいお部屋との出会いに胸を弾ませる様子が見られました。

「もうすぐ年長さん」「はじめての年中さん」など、次の学年への期待と少しのドキドキを抱えながら、子どもたちは頼もしくその一歩を踏み出しました。

新年度も、ひばり幼稚園では子どもたち一人ひとりの歩みに寄り添いながら、成長を見守っていきます。



ありがとう！川越ひばりの大型遊具



川越ひばり幼稚園で長年にわたり子どもたちに親しまれ、数えきれない思い出を育んできた園庭の大型遊具の撤去が決定されました。老朽化に伴う安全面への配慮のもと、惜しまれつつも役目を終えることになりました。

撤去後の園庭は、「総合グラウンド」として再整備され、体操教室や運動会といった行事でもより広々と活用できるスペースへと生まれ変わります。

加えて、近年、公園でのボール遊びの制限や外遊びの場の減少が課題となっている中、園児やご家族に貢献できる場を提供したいという思いから、総合グラウンドの休日開放を計画しています。卒園児も自由に遊びに来ることができ、地域にとつての「安心の遊び場」を目指して準備が進められています。

園庭はその形を変えても、子どもたちの育ちを見守る場所であることに変わりはありません。今後も、ひばり幼稚園は子どもたちの「遊び・学び・成長」の場として、よりよい環境づくりに力を注いでまいります。

今月のお知らせ

情報発信中！

Instagramでは、1年間を通してひばり幼稚園の行事や活動の様子、お知らせ等をご紹介しますので、ぜひご覧ください！

いいね・フォローも大歓迎です♪



@HIBARI_KINDERGARTEN